

校長室だより

令和4年8月

夏休み真っ只中の8月。

この年始、大いに困惑させられた第6波の感染者数を遙かにしのぐ第7波が、容赦なく日本全国を覆い尽くしている。基本的な感染防止対策の徹底が繰り返し、本当に何度も何度も呼びかけられているが、屋外で他者と十分な距離があるときにマスクは外して熱中症対策も大切ですよということは、どれくらい浸透しているのか、時々心配になる。

健康管理は従来以上に気を配っていきたい。

7月、正門前の掲示板には大切にしたい3つの言葉を記していた。人が他者と共に生活を送る上で、欠かすことができないと考えた（本校生のみに向けた）言葉だ。

この8月も、言葉についての思いを掲示している。登校してきたときに一読して欲しい。ちなみに、これらの言葉に共通しているのは、物心つく頃には周りの大人からよく言われ、耳にしていた言葉だ。

「自分がやられて嫌なことは人にしてはいけない」（の逆、嬉しいことはしてあげよう）

とても当たり前のことに思えるがどうだろう。最近、この行動規範が揺らいでいるのではないか。特に、「リアル」ではない、SNSやオンラインでのつながりが増え、コロナ禍によるマスク着用で表情が分かりづらくなってから、余計にそう感じる。自分がされて嫌なことは何か、そして、相手の嫌なことって何だろうと思いを馳せることは忘れたくない。

あっという間に過ぎる夏休み。まだまだ熱中症やコロナ対策から気を抜けないが、素敵なりアルの時間を積み重ねて、この夏を有意義に過ごしていこう。